

特集 命を守る。そのために

# 雨

平穏な日常を脅かす災害の恐怖。  
命をも落としかねないまさかの時は、  
前触れもなく突然訪れます。  
この町も決して例外ではなく、  
幾度も危険にさらされています。

問題が広範囲で同時多発的に、  
前触れも無く起こる非日常の状況下、  
自身を守るのは日常の備えと意識。  
今月は2度に渡る「九州北部豪雨」で  
未曾有の災害を経験した朝倉市から、  
「命を守る」ための教訓を学びます。

取材協力、写真提供  
・西日本新聞社  
・田川地区消防署 本署／金田分署  
・松末地域コミュニティ協議会



## 迫った最大級の危機

平成30年

### 西日本豪雨



**観** 測史上最大、町内で7月5日から3日で前年7月の倍以上にあたる降水量423 mmを記録した昨年の豪雨。町初となる最大級の警報「避難勧告」が発令され、252人が避難する事態となりました。神崎地区の広範囲が冠水、赤池の草場地区では住宅2件が孤立するなど、死者のないことが幸運と呼べる大災害を経験しました。

## あの日を忘れない

平成21年

### 上弁城土砂災害



**記** 録的な大雨が各地で水害や土砂災害を引き起こした「中国・九州北部豪雨」。町でも豪雨が3日間にわたり降り続き、土砂崩れで民家2棟が崩壊、5人が生き埋めとなり、うち1人が尊い命を失いました。あの経験と教訓を永久に忘れないよう、7月24日は「防災の日」に制定され、毎年黙とうがささげられています。

## 突如襲った恐怖

平成15年

### 7.19 ゲリラ豪雨



**未** 明から突如激しさを増した雨は、国土交通省上野観測所で午前2時から4時間で161ミリの降水量を記録。短時間で年間平均の1割にあたる雨がたたぎつきました。道路は土砂で寸断、低地は水没。嘉穂劇場も被災したこの雨で、土砂崩れ81か所、家屋半壊5棟、床上床下浸水83棟の甚大な被害を町にもたらしました。